



長寿を祝い賀寿贈呈

涌井ナヨさんが満100歳に

涌井ナヨさんが8月10日に満100歳を迎えられ、同日、さゆりの園で賀寿贈呈式が行われました。式では、県や町、町老人クラブ連合会から賀寿と記念品が贈られ、さゆりの園の入所者と職員から記念品が贈られました。薄友喜町長は「これからも元気で長生きしてください」と祝辞を述べ、式の最後には親族の涌井長榮さんが謝辞を述べました。



平成30年度西会津町戦没者追悼式

恒久平和の誓いを新たに

町では、戦没者を悼み、恒久平和の誓いを新たにするため7月31日に戦没者追悼式を開催しました。式では、参列者全員で黙とうを捧げた後、薄町長が式辞を述べ、青木照夫町議会副議長や西会津町遺族会の佐野順子群岡地区遺族会代表らが追悼の辞を述べました。最後は参列者全員で献花を行い、戦没者の安らかな眠りを願いました。



野沢常泉寺・黒地藏尊の祭礼

子どもたちの健やかな成長願う

7月24日の縁日に野沢常泉寺・黒地藏尊の祭礼が開かれ、駅通り商店会による露店が並ぶ境内は今年も多くの親子連れなどでにぎわいました。子育て黒地藏さまは、古くから常泉寺に祀られ、霊験あらたかな地藏さまとして多くの信仰を集めていたと伝えられ、毎年子どもたちの健やかな成長を願い、町内の大勢の皆さんがお参りに訪れています。



にしあいづ健康ミネラル野菜普及会の皆さんが販売

道の駅でミネラル野菜お盆市

8月11日と12日の午前11時から午後2時ごろまで、にしあいづ健康ミネラル野菜普及会の皆さんが道の駅にしあいづの情報提供施設でミネラル野菜お盆市を開催しました。お盆市では、トマトやキュウリ、カボチャなどのミネラル野菜はもちろん、お盆用の切り花などが販売され、売り場は新鮮な野菜を求める買い物客でにぎわいました。

ふるさと奥川盆踊り大会

楽しみいろいろ 真夏の夜の風物詩

恒例の「ふるさと奥川盆踊り大会 & ビアガーデン」が8月14日に奥川みらい交流館前グラウンドで開かれました。当日は、高揚塾、奥川婦人会の会員を中心に朝から準備が行われ、ビアガーデンは午後5時30分から、盆踊りは7時30分から始まりました。ビアガーデンが始まるのを待ちに待っていた皆さんが次々と来場し、開始早々に飲み物と食べ物売りが行われました。盆踊りには地元住民をはじめ、帰省客など町外の皆さんも数多く参加し、グラウンドにひとつの大きな輪ができました。盆踊りの最後には、おたのしみ抽選会が開催され、参加された皆さんに素敵なプレゼントが当たりました。



いわき市立豊間小学校児童との
夏季交流事業

たくさんの体験を 通して友情深める

今年で28回目を数えるいわき市立豊間小との交流が8月3日、4日の2日間で行われ、西会津小と豊間小の5年生約50人が交流を深めました。児童らは今夏も「いわき海浜自然の家」に宿泊し、初日は舟戸海岸での磯遊びやスイカ割り、魚釣りを楽しんだほか、夜はキャンプファイヤーを行い友情を深めました。2日目は塩屋埼灯台など豊間町の散策や、アクアマリンふくしまを見学し、海の自然を満喫しました。

すっかり仲良しになった児童らは、冬の西会津での再会を誓い合っていました。





西高魅力発信隊の活動と成果を伝える

西会津中生に向けて活動発表

7月10日、西高魅力発信隊の皆さんが西会津中の3年生に向けてこれまでの活動の概要などを発表しました。西高魅力発信隊は、町やi.club（アイ・クラブ）と共に地域活性化を目的とした商品開発に取り組んでおり、「車魅ラスク」はその成果の一つです。西会津中3年生の皆さんは、西高魅力発信隊の発表に熱心に聞き入っていました。



「新しい学び」の一步

プログラミングに挑戦！

2020年から小学校で必修となる「プログラミング教育」に先駆け、7月22日、町教育委員会ではIT企業の協力の下、西会津小の4～6年生を対象に「プログラミング教室」を開催しました。当日は、参加した児童14人がタブレット端末とロボットを使ってプログラミングを体験し、自分のプログラミングでロボットが目の前で動く感動を味わいました。



商工会青年部・女性部による夏の風物詩

たかはし桜公園でビアガーデン

町商工会青年部・女性部による西会津・納涼ビアガーデンが7月27日、28日の2日間にわたり、たかはし桜公園で開かれました。暑い日が続いたこともあり、初日の金曜日は満員御礼、席が足りないほど多くの家族連れなどが涼を求めて訪れました。来場した皆さんは、珍しいビールやさまざまな軽食に舌鼓を打ちながら、楽しい夏の宴を満喫していました。



野沢ふるさと夏まつり盆踊り大会

額に汗して楽しいひととき

恒例の野沢ふるさと夏まつり盆踊り大会が8月15日に開かれ、町内の企業や団体、帰省客など、大勢の皆さんが参加しました。あいにくの雨模様で例年より短い時間で閉幕となりましたが、野沢の夏の風物詩を一目見ようと訪れた観客が見守る中、参加した皆さんは額に汗をにじませながら、楽しそうに夏の夜のひとときを満喫していました。

屋敷・楢木平・熊沢の若手が提案

約20年ぶりに「魚つかみ」を開催！

8月14日、熊沢自治区の鬼光頭川で「魚つかみ」が開催され、屋敷・楢木平・熊沢の地元の子どもたちや帰省した子どもたちが歓声を上げながら魚つかみに挑戦しました。

最初は元気よく逃げる魚に遊ばれていた子どもたちですが、ひとたび捕まえ始めると一人で数十匹もの魚を捕まえる名人？もいました。最後は大人も参加し、放流した約250匹のイワナを捕まえました。

この魚つかみは、かつては毎年開かれており、昔この行事を楽しんでいた地元の若手が「今の子どもたちにも体験させたい」という思いから提案し、約20年ぶりに復活させました。



中学生に西会津高の魅力を伝える

西会津高で体験入学

7月27日、中学生を対象とした「1日体験入学」が西会津高で開かれ、6つの中学校から15名の中学生が参加しました。当日は運営の大部分を在校生が担い、現役高校生の本音を交えた学校生活の様子や、「立志塾」における大学進学を目指した勉強の取り組み状況などを、分かりやすく中学生に伝えました。

このほか、高校の授業を中学生が実際に受ける模擬授業や、ボート部員の指導による「エルゴ体験」、西高魅力発信隊による寸劇を交えた活動状況報告などが行われ、参加した中学生からは、「先輩や先生がやさしい」「楽し学校生活が過ごせそう」といった感想が寄せられました。